施策・事業⑥ 観光誘客による公共交通の利用促進

観光客向け利用促進策の実施や、行政機関等が行う観光振興策との連携、観光客の利便性向上等により観光誘客を図り、公共交通の利用を促進する。

(1) 具体的な内容

(1)インセンティブ付与等による公共交通の利用促進

観光客向けの割引サービス付与など特典がある企画乗車券の発行や、観光資源などを 活用したスタンプラリーなどの観光振興策との連携などにより、観光客による公共交通 の活用を誘導する。





図 7-14 江差・松前周遊フリーパス~千年北海道手形~ (新幹線木古内駅活用推進協議会)





図 7-15 1日乗車券「カンパス」(函館バス(株)、道南いさりび鉄道(株))



図 7-16 函館市縄文文化交流センターへの路線バス乗り入れと 縄文カンパスの販売(函館バス(株))



図 7-17 知って泊まってぐるっと道南 檜山キャンペーン (北海道檜山振興局)



図 7-18 道南・青森縄文「ドキドキ」 スタンプラリー2022 ((公社)北海道観光振興機構)

②利便性の向上

観光客が多く利用する空港や駅などから路線バスの乗換・乗継が行われる交通結節点 について、円滑に利用できるよう、運行ダイヤ等の見直しを行う。

③ICT 技術の活用促進(再掲)

- ・函館バスが設置するバスロケーションシステムは、バスの到着予想時刻を把握できて、待ち時間の有効活用に資する有用なシステムであることから、関係者で連携して、観光客に対し広く周知を図る。
 - ・道南地域において、グーグルマップでの経路検索と乗り放題チケットをアプリで購入・利用できる「DohNa!! (ドーナ)」について、観光誘客の取組などに合わせて積極的な広報に努め、利用促進を図る。

(3)取組主体と主な取組

<取組主体>

国	・利用促進に向けた必要な助言や、検討・協議結果を踏まえた取組支援。					
道	・観光プロモーションと連携した公共交通PRの実施。 ・観光客が大杙?利用する交通結節点での乗換・乗継状況を確認し、利便 性の向上に向けた検討を行う。 ・各種取組をホームページやSNS等で広く情報発信。					
市町	・観光施策と連携した利用促進の取組の検討。 ・各種取組をホームページやSNS等で広く情報発信。					
交通事業者	・インセンティブが付与された1日乗車券など企画乗車券の発行。 ・検討、協議に必要なデータ(乗降データなど)の提供。 ・バスロケーションシステム運用、ホームページ等による情報発信。					

(3) スケジュール

項目	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
	観光施策との 連携検討				
インセンティブ 付与等による利 用促進	*		観光施策との記	重携	
	企画乗車	券の発行など・	インセンティフ	が付与等による	利用促進

項目	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
7月1年14月2日	交通結節点 での取組検討		検証 見直し ★		検証 見直し
利便性の向上		取組実施		取組実施	
ICT 技術の活用 促進【再掲】	情報発	検証 信 見直し	情	報発信	検証見直し